

～～第8551回～～

しずおかスポーツフェスティバル

京丸山・秋葉山

～H30. 10. 27-28～

「京丸山（Aコース）」

今年の第12回しずおかスポーツフェスティバル登山大会は、一泊の京丸山と日帰りの秋葉山と異なる場所での開催となった。我々京丸山チーム5名は、静岡駅前に27日10:00に集合し、自家用車で集合場所である春野町石切集落のみやま会館に向かった。新東名森掛川ICを降り北上、国道362号から気田川沿いの道を石切川沿いの道へと曲がって行くのであるが、ここからの道が舗装道とはいえすこぶる狭い。すれ違いはできそうもないのでバックが必要だが、ガードレールのない箇所がかなりあり、厳しい運転を強いられる道だ。みやま会館前には、県内8団体30名ほどの参加者が集合し、滝田会長ほか大会役員の挨拶のあと3班に分かれて出発する。ワングルメンバーは第2班として、島田ハイキングクラブの皆さんらと会館裏手の林道を出発する。しばらくは平坦だが、やがて勾配が少しついてきたあたり1時間ほどでゲートに着く。林道が二つに分かれており、右の京丸川方向に下っていく。結構下って行ったところで道の左側に、明日の下山口となる登山道が見えた。我々はさらに林道を進み、当然ながら下った分長い登り返しを経て京丸集落跡に到着する。今宵は特別の計らいでこの古民家に宿泊させて頂く。一部メンバーは庭先でのテント泊である。山あいは日の入りが早い。着込まないと寒くなってきた。夕食の芋煮と熱燗で温まったところでシュラフに潜り込む。二日目は5:30出発予定のため、まだ暗いうちからテントを撤収し、芋煮の残りに玉子を加えたおじやで朝食をとる。支度ができたため予定より10分ほど早く、ヘッドランプを装着して出発する。古民家の前から再び林道をひたすら登る。やがて朝焼けが歩く方向の左手に広がってくる。一瞬?と思ったが、道は尾根を巻くように南方方向に続いているのだった。姫沙羅が立ち並ぶ道を進むと、尾根を回り込んで北向きになる辺りに山の神があった。ちょうどここから昨日見た下山口に続く下降点が始まる。しばらく北上するとヘリポートと呼ばれる展望台に出た。東側は高塚山から竜馬ヶ岳に続く稜線がよく見える。小休止の後、歩き始めてさほど経たない頃、ようやく林道終点にたどり着く。ここから山道だが、いきなりつづら折りの急登だ、周りはブナやツガの自然林。1305mの小ピークを越えた辺りは、虎ロープがあるので安心だが左右が切れ落ちているやせ尾根も数か所ある。天気は良いが、横風が強く寒さを感じる。歩き始めて約3時間、1469.5m三等三角点のある京丸山に到着した。割と広々としているが展望はあまりない。寒いので小休止の後、すぐさま下山にかかる。来た道に戻り、ヘリポートに到着する頃には寒さも和らいできた。山の神のところから林道をショートカットして山道を下る。杉の落葉が多く、道がやや不明瞭であるが赤テープを頼りに急坂をグングン下っていき再び林道に合流。ここからゲートまで登り返し、ちょうど正午頃、集合場所のみやま会館に

到着した。県内 8 団体の参加による山行だったが、事故もなく無事解散することができた。

参加者：5 名（静岡北 2、静岡東 1、静岡西 2）

天候：1 日目（雨のち晴）、2 日（晴）

コースタイム：静岡 1000＝新東名高速＝森掛川 I C＝切石 1240-1310…ゲート 1410…京丸集落跡（泊）1530-520…山の神 600…ヘリポート 635…林道終点 700…京丸山 810…ヘリポート 925…山の神 1000…登山口 1045…ゲート 1110…切石 1200＝森掛川 I C＝新東名高速＝静岡 1430

記録：静岡北支部 中尾



展望所、正面に高塚山



京丸山山頂

「秋葉山（Cコース）」

Cコースは 28 日朝 6:30 静岡駅前に集合し、最終的に車を 3 台にして出発した。新東名浜松浜北 I C から天竜川を渡り天浜線二俣駅でトイレ休憩をとる。ここは来週（3 日）に記念ワンドラーでまた訪れることになる。二俣川を渡り国道 152 号から 362 号に入り北上、8:20 秋葉神社下社駐車場に着いた。362 号に入り中間点に道の駅があり、詳しく調べておけば利用できたが残念であった。駐車場では「袋井山の会」と書かれた大きなゼッケンを付けた人たちの誘導に従い駐車場に入った。参加予定者が揃うのを待って開会式があり 9:15 秋葉山に向け出発する。運営担当の袋井山の会 10 人他 31 人、総勢 42

人で4班の編成であった。歩き出してすぐの所にも駐車場がある、ここもトイレが設置されている。里坊一表参道の標示板がある分岐を右に、赤く塗られた九里橋を渡るとすぐ自然石舗装の急坂になり、登って行くと三の鳥居跡がある。石畳の道が終わると杉林の中の道になり十八丁茶屋跡、富士見茶屋跡と登って行く。富士見茶屋跡を通り過ぎ杉の倒木が電線に倒れかかっているところを通る。台風24号の爪跡のようである。四の鳥居跡を過ぎ火防秋葉三尺坊に着く。標示板には「秋葉三尺坊大権現秋葉山総本山秋葉寺」となっている。三尺坊を過ぎると杉の巨木が目につくようになり、秋葉神社が近くなってきているのが感じられる。秋葉神社の山門にも倒木が倒れかかり屋根の一部に破損が見られた。山門をくぐればもう秋葉神社である。ゆっくり昼食を摂った後、本殿で祈禱を受け宝物の見学もして下山。下社駐車場で閉会式を行い県スポCコースが終了、好天の下良い山行であった。

参加者：17名（静岡北2、静岡東2、静岡南5、静岡西7、浜松1）

天候：晴れ

地図：秋葉山

登山道：10/29現在の状況は倒木により原則的には通行止め。

コースタイム：下社駐車場 915…三の鳥居跡 940…三尺坊 1120-35…秋葉神社 1155-1330
…三尺坊 1345…三の鳥居跡 1450…下社駐車場 1510

記録：静岡北支部 恩田



Cコース開会式。



秋葉神社本殿にて祈禱を受ける。